

はまな

No. 561 平成 30 年 2 月

静岡県水産技術研究所浜名湖分場

〒431-0214

静岡県浜松市西区舞阪町弁天島 5005-3

TEL 053-592-0139 FAX 053-592-0906

<http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/hamanako>

e-mail: suigi-hamanako@pref.shizuoka.lg.jp

羅
月

おすすめ品
3 コロッケ
450円

おすすめ品
井 カキフライ
1300円

おすすめ品
5 コ 牡蠣フライ
1100円



目次

平成 29 年のアサリ漁を振り返る

.....1

平成 29 年の浜名湖漁獲統計

.....3

「ふじのくに食と花の都の祭典」で大型ウナギのPRを行ないました

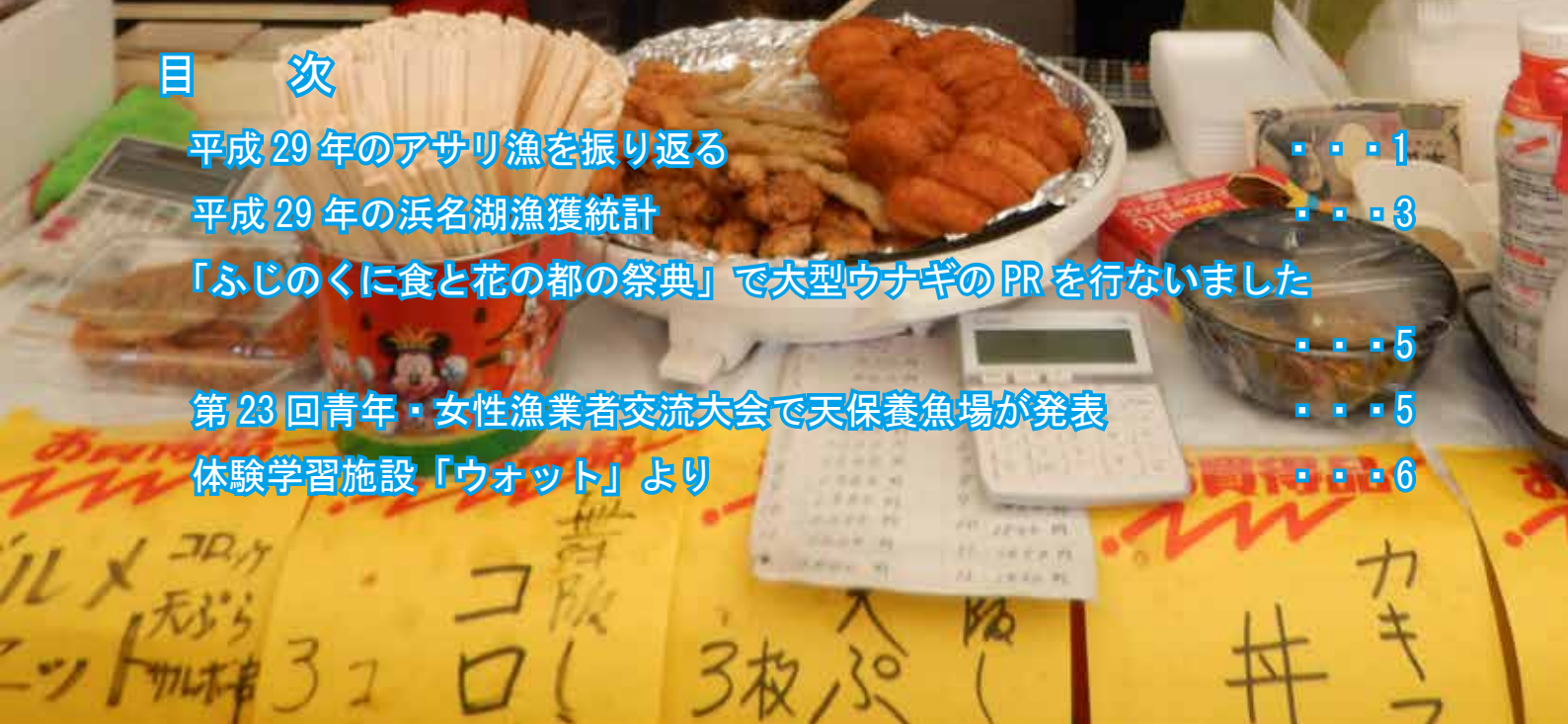
.....5

第 23 回青年・女性漁業者交流大会で天保養魚場が発表

.....5

体験学習施設「ウォット」より

.....6



おすすめ品
3 コロッケ
450円

おすすめ品
井 カキフライ
1300円

おすすめ品
5 コ 牡蠣フライ
1100円

浜名湖における平成 29 年のアサリ漁獲量は 968 トン、本稿では、平成 29 年の漁模様を振り返ってみたいと思います。対前年比 51% となりました（浜名漁業協同組合集計）。います。

1 漁獲等の動向

（１）年間漁獲量と採貝連合会員（採貝漁業者）数

昭和 57 年以降の年間漁獲量と採貝漁業者数の推移を図 1 に示しました。平成 29 年の漁獲量は 968 トンと、統計史上初めて 1 千トンを下回り、過去 10 年間の平均値（3,646 トン）の 27% と最も厳しい結果となりました。採貝漁業者数は平成 15 年以降増加し、22 年以降は 600 人以上で推移していましたが、25 年以降は減少傾向となり 26 年には 600 人を下回り、29 年の会員数は 557 人でした。

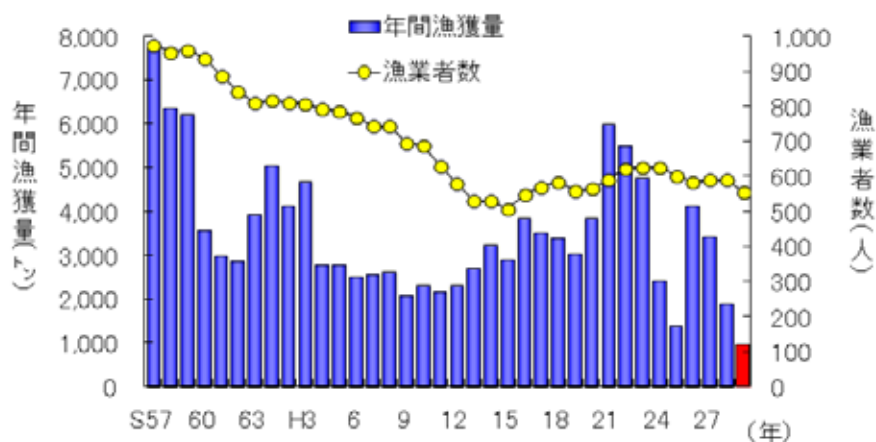


図 1 浜名湖のアサリ年間漁獲量と採貝漁業者数の推移

（２）月間漁獲量

月間漁獲量の推移を図 2 に示しました。平成 29 年の月間漁獲量は、15 ～ 205 トンで推移し、8 月までは前年及び過去 10 年間平均を大きく下回りましたが、9 月以降は急増し、不漁だった前年を上回りました。これは、前年秋生まれのアサリが 9 月以降になって、漁獲可能なサイズにまで成長し、漁獲され始めたためと推察されました。

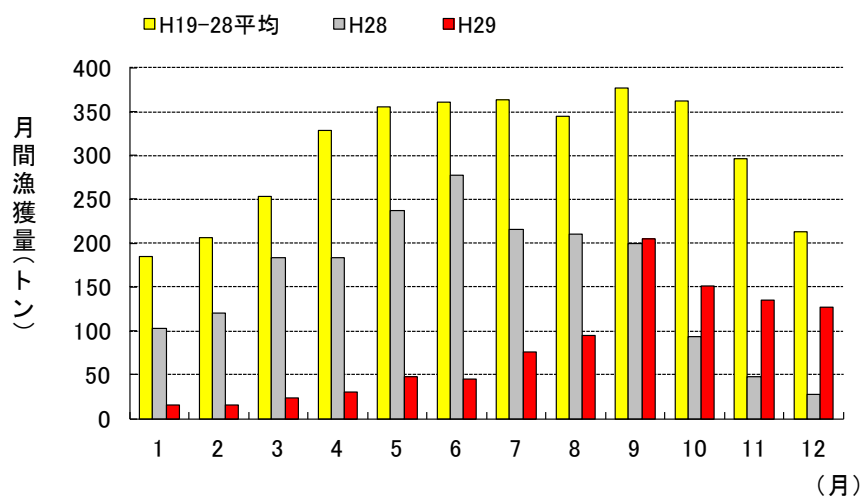


図 2 アサリの月間漁獲量の推移

2 単価等の動向

(1) 年間漁獲金額と年平均単価

昭和 57 年以降の年間漁獲金額と年平均単価の推移を図 3 に示しました。平成 29 年の年間漁獲金額は 3.9 億円で、過去 10 年間平均 (13.4 億円) を大きく下回り前年比 50% となり、漁獲量と同様に、過去最低の結果と

なりました。また、平成 29 年の年平均単価は 398 円/kg で、過去 10 年間平均 (370 円/kg) は上回ったものの、前年 (410 円/kg) を下回りました。

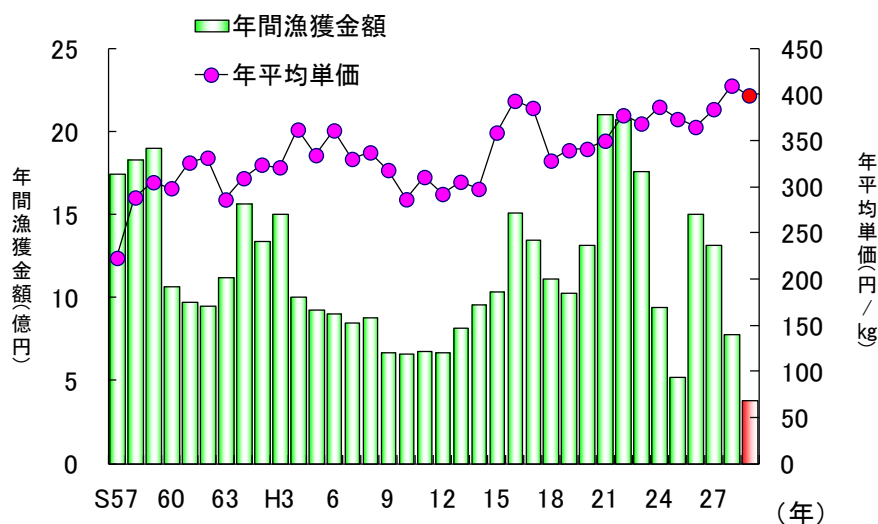


図3 アサリの年間漁獲金額と年平均単価の推移

(2) 月別平均単価

月別平均単価の推移を図 4 に示しました。平成 29 年の単価は、全ての月で過去 10 年間平均を上回ったものの、平成 27 年 12 月以来 400 円/kg 以上で堅調に推移していたものが、7 月以降、急速に下降傾向となり、9

月には 22 ヶ月ぶりに 400 円/kg を下回り、390 円/kg 前後で推移しました。これは、安価な小型貝の割合が増加したためと推察されます。

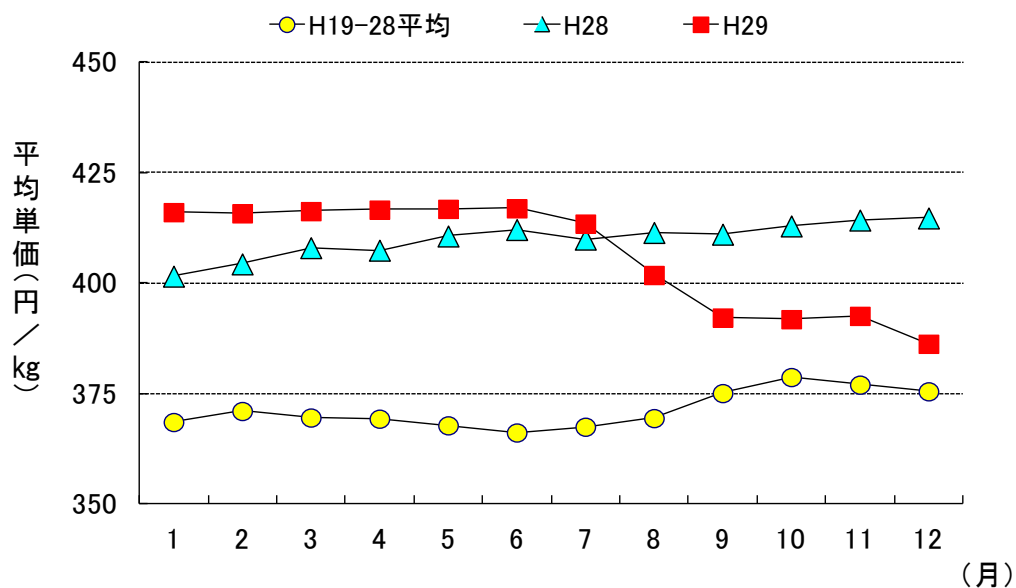


図4 アサリの月間平均単価の推移

3 今後のアサリ資源の管理について

以上のように、平成 29 年のアサリ漁は統計史上最も厳しい状況でした。この原因は、28 年秋に起こったアオサの腐敗による底質環境の悪化により、漁獲対象サイズのアサリの多くが斃死し、その影響が続いていたためと推察されます。

9 月以降漁獲量が一時増加しましたが、これは前年秋生まれの貝が成長し、新たに漁獲の対象となったためで、現在はほぼこの単一の発生群（同時期に生まれた集団）のみで構成されています。漁獲量が多く資源水準が良好

な年の漁獲対象群は、生まれた年や時期が異なる複数の発生群によって構成されます。そのため、今後は産卵期における禁漁などにより親貝を保護し、複数の発生群が確認されるような取組が必要でしょう。

また、9 月以降の状況は、小型（低重量）で単価も安いうちに漁獲していたため、資源の有効利用にはなっていませんでした。資源の状態が悪い時こそ、決められた漁獲サイズの厳守や引き上げ（もっと大きくしてから漁獲する）等を行い、高単価での水揚げを目指すことが必要ではないでしょうか。

平成 29 年の浜名湖漁獲統計

吉田 彰

浜名漁協の資料を基に、平成 29 年の浜名湖内における漁業種別（養殖を除く）の漁獲量を図 1 に、漁獲金額を図 2 に示しました。総漁獲量は 1,091 トンで、前年の約 53% となりました。その内訳は、採貝が最も多く 968 トン（88.7%）、次いで袋網が 93 トン（8.5%）、三枚刺網 17 トン（1.5%）と続き、この順位は前年と同じでした。なお、その他 14 トン（1.3%）には、うなぎつぼ、メッコ網などが含まれます。一方、総漁獲金額は 862 百万円でやはり前年の約 53% となりました。その内訳は、採貝が最も多く 386 百万円（44.7%）、次いで漁獲物単価の高いメッコ網 281 百万円（32.6%）、袋網 149 百万円（17.3%）、三枚刺網 19 百万円（2.2%）、うなぎつぼ 14 百万円（1.6%）となりましたが、いずれの漁業種も前年を下回りました。

次に、主要 30 魚種（銘柄）について、支所別の漁獲量を表 1 に、月別の漁獲量を表 2 に示しました。なお、入出支所の水揚げは平成 18 年 4 月から鷺津支所に、気賀支所、村櫛支所、白洲支所の水揚げは平成 22 年 1 月から雄踏支所に、それぞれ含めています。

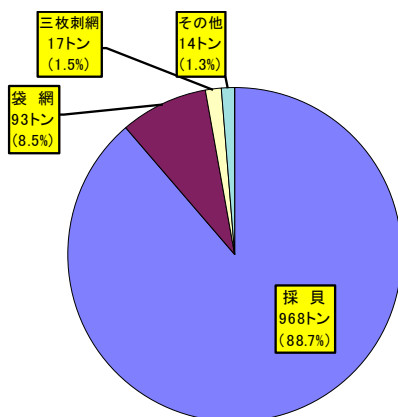


図 1 平成 29 年浜名湖における漁業種類別の漁獲量
（総漁獲量 1,091 トン）

アサリを除く 29 魚種の総漁獲量は前年比 79% の 109 トン、アサリが前年比 51% の 968 トンとなり（本誌「平成 29 年のアサリ漁期を振り返る」を参照）、全体では前年比 53% の 1,077 トンでした。前年より増加した魚種は 9 種にとどまり、このうち増加の大きかった魚種の増加量は、イカ類 3.9 トン、雑魚（漁協銘柄の「雑魚」にアイゴ（シャクシャ）、ヘダイなどを加えたもの）1.8 トン、ボラ 0.6 トン、ブリ類 0.3 トンでした。一方、減少の大きかった魚種の減少量は、コノシロ（新子も含む）13.2 トン、スズキ 6.4 トン、タコ 4.4 トンで、比較的魚価の高い魚種が目立ちました。因みに、湖内の有用な漁獲対象種で、アサリの食害種の一つでもあるクロダイ（本誌 556 号「アサリの資源回復技術開発の研究を紹介します」を参照）の漁獲量は 3.8 トンとほぼ前年並みでした。

平成 29 年の湖内漁業は、アサリの漁獲減を背景に前年に比べ減収となりました。アサリの資源管理をはじめ、クルマエビの栽培漁業、ウナギの資源管理などを通じ、今後とも持続的な湖内漁業の推進を支援していきたいと思っています。

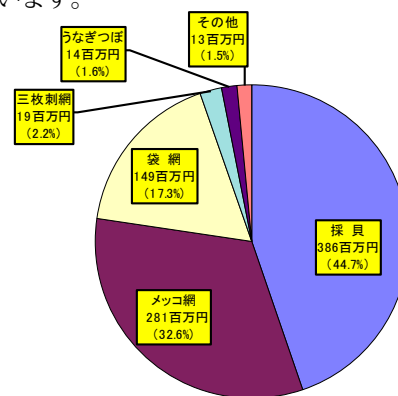


図 2 平成 29 年浜名湖における漁業種類別の漁獲金額
（総漁獲金額 862 百万円）

表 1 平成 29 年浜名湖における主要 30 種の魚種別、支所別漁獲量 (kg)

	舞 阪	新 居	鷺 津	雄 踏	合 計	前年(28年)	29年-28年	29年/28年
コノシロ	0	0	4,546	6,712	11,258	24,443	▲ 13,185	46%
マイワシ	0	0	314	0	314	1,228	▲ 914	26%
ウナギ	19	30	1,654	5,425	7,128	7,802	▲ 674	91%
シラスウナギ	68	172	54	206	500	798	▲ 298	63%
アナゴ	0	21	488	796	1,305	1,051	254	124%
サヨリ	0	0	56	382	438	567	▲ 129	77%
ボラ	0	0	1,122	555	1,677	1,039	638	161%
カマス	0	0	900	51	951	830	121	115%
サバ	0	0	16	7	23	177	▲ 154	13%
マアジ	0	3	508	274	785	1,471	▲ 686	53%
ブリ類	0	4	430	8	442	129	313	343%
スズキ	0	0	4,351	14,068	18,419	24,863	▲ 6,444	74%
キス	0	0	367	3	370	322	48	115%
クロダイ	0	0	1,844	1,976	3,820	3,964	▲ 144	96%
キビレ	0	0	613	549	1,162	1,234	▲ 72	94%
ハゼ(マハゼ)	0	0	1,288	4,264	5,552	6,097	▲ 545	91%
コチ	0	0	986	430	1,416	1,621	▲ 205	87%
アイゴ	0	0	1,138	76	1,214	1,463	▲ 249	83%
カレイ類	0	17	2,123	1,649	3,789	3,917	▲ 128	97%
カワハギ	0	0	537	320	857	744	113	115%
雑魚	0	118	8,710	4,595	13,423	11,593	1,830	116%
クルマエビ	227	0	447	3,270	3,944	3,932	12	100%
クマエビ	0	0	335	2,494	2,829	4,452	▲ 1,623	64%
カニ(ガザミ)	0	0	458	700	1,158	2,349	▲ 1,191	49%
ノギリガザミ	0	0	686	2,759	3,445	5,614	▲ 2,169	61%
雑エビ	0	0	945	2,957	3,902	5,977	▲ 2,075	65%
雑カニ	0	0	4,454	4,822	9,276	10,277	▲ 1,001	90%
イカ類	0	0	2,285	2,595	4,880	957	3,923	510%
タコ	0	2	3,049	1,723	4,774	9,163	▲ 4,389	52%
小 計	314	367	44,704	63,666	109,051	138,074	▲ 29,023	79%
アサリ	484,607	163,910	141,594	177,822	967,933	1,901,163	▲ 933,230	51%
合 計	484,921	164,277	186,298	241,488	1,076,984	2,039,237	▲ 962,253	53%

表 2 平成 29 年浜名湖における主要 30 種の魚種別、月別漁獲量 (kg)

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
コノシロ	181	7	24	1,554	1,012	1,439	2,047	2,043	826	809	782	534
マイワシ	7	0	0	37	0	32	26	24	4	17	16	151
ウナギ	33	0	0	454	736	779	1,097	1,125	894	1,103	573	334
シラスウナギ	174	205	121	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アナゴ	3	0	0	168	282	290	242	85	46	54	51	84
サヨリ	0	0	0	270	36	4	0	22	28	16	16	46
ボラ	65	36	110	468	118	71	72	182	126	101	167	161
カマス	0	0	0	0	0	0	0	50	218	446	178	59
サバ	4	0	0	0	0	7	0	0	0	5	5	2
マアジ	0	0	0	0	54	380	93	135	39	45	30	9
ブリ類	0	0	0	0	5	62	187	152	11	25	0	0
スズキ	234	15	5	1,290	1,697	1,199	2,031	2,896	2,794	2,832	2,782	644
キス	0	0	0	1	1	3	41	166	67	10	75	6
クロダイ	155	55	77	501	426	407	188	631	314	443	461	162
キビレ	4	0	0	125	131	101	98	257	198	116	77	55
ハゼ(マハゼ)	203	0	0	376	62	449	631	440	218	147	913	2,113
コチ	4	0	0	81	167	113	120	353	221	142	164	51
アイゴ	0	0	0	10	324	419	127	228	45	42	19	0
カレイ類	121	0	4	344	686	227	222	198	338	578	704	367
カワハギ	3	0	0	0	0	0	1	351	63	165	227	47
雑魚	247	23	107	600	2,081	1,553	1,794	2,375	1,521	1,386	1,004	782
クルマエビ	0	0	0	1	212	1,138	1,439	742	233	144	29	6
クマエビ	0	0	0	0	0	0	0	401	1,585	829	14	0
カニ(ガザミ)	10	0	0	138	176	109	142	160	151	142	92	38
ノギリガザミ	4	0	0	25	66	107	437	671	570	386	962	217
雑エビ	5	0	0	6	42	678	906	101	597	1,314	247	6
雑カニ	19	0	0	562	1,672	1,431	1,203	1,366	1,239	1,105	592	87
イカ類	0	0	0	42	1,371	942	543	727	759	270	176	50
タコ	9	7	0	53	122	235	1,068	1,256	509	914	417	184
小 計	1,485	348	448	7,106	11,479	12,175	14,755	17,137	13,614	13,536	10,773	6,195
アサリ	15,406	15,785	23,430	30,815	48,040	44,788	75,566	94,952	204,805	151,360	135,476	127,530
合 計	16,891	16,133	23,878	37,921	59,519	56,943	90,321	112,089	218,419	164,896	146,249	133,725

「ふじのくに食と花の都の祭典」で大型ウナギの PR を行いました

今中 園実

1月13、14日に、アクトシティ（浜松市）で、県産の食材等をPRするイベント「ふじのくに食と花の都の祭典」が開催されました。浜名湖分場も「食文化体験展示」の1つとしてブース出展し、大型ウナギのPRを実施しました。

近年、ウナギの資源保全が大きな問題となっています。養鰻業においてもシラスウナギ池入れ量に制限が設けられ、限りある資源を活用することが求められるようになりました。そこで静岡県では、限りあるウナギ1尾を大きく育て、大きくなったウナギをを分け合って食べることで資源の有効利用を図ろうという発想のもと、大型ウナギの普及に取り組んでいます（本誌554号を参照）。今回の出展ブースでは、浜名湖養魚漁協が大型ウナギを用いて開発した調理用真空パック素材（本誌555号参照）の展示、および大型ウナギを用いた白焼きの試食を実施しました。

2日間で約900名の来場者に大型ウナギをに試食していただいた結果、とても好評でした。大型ウナギは、通常のウナギと比べて、小骨処理の難しさや皮の硬さが難点とされることがありますが、試食していただいたお客様からは、「普通のウナギと変わらずおいしい」「骨や皮は気にならない」など、素

材としての良さを評価するご意見を数多くいただきました。展示した真空パック素材は、専門の職人の手により、すぐ調理できるよう下処理がされたもので、「これなら家庭でも使える」というご意見もいただき、購入に興味を示したお客様も多く見られました。直近の新聞記事などでシラスウナギの不漁が報道されていたこともあり、「ウナギ資源を大切にしたい」というご意見も、数多くいただきました。

今回の出展を通し、資源を守りながら有効活用する「大型ウナギ」を、多くの方にPRできたと感じています。



大型ウナギを試食する来場者と、真空パック素材（右上）

第23回静岡県青年・女性漁業者交流大会にて天保養魚場が発表

水越 麻仁

平成29年12月1日、静岡県男女共同参画センター「あざれあ」において、第23回静岡県青年・女性漁業者交流大会が静岡県漁業協同組合連合会と静岡県の共催で開催されました。

本大会は、県内の青年・女性漁業者が各地域の様々な活動を発表し、知識向上に役立てるとともに地域間の交流を深めるためのものです。今回は、伊豆、沼津、西部の各地域から1題ずつと、焼津水産高校の研究発表が1題ありました。西部地域からは、天保養魚場の山下昌明

氏が「見られる、触（さわ）れる、食べられる一観光養鰻のチャレンジ」と題して、一般の方々にウナギについて身近に感じてもらうため、実際の養鰻場を見学して頂く取組（本誌551号参照）について発表をされました。

山下氏からは、観光養鰻の取組を始めた経緯や実際の取組状況、体験された方々の御意見、更には今後の展望や計画について、写真を交えながら、臨場感溢れる説明がありました。体験された方々の意見は、ウナギを身近に感じる事ができて良かった、ウナギ資源の保護を頑

張って欲しいといった好意的なものが多く、地元の新聞や商工会の会報等でも取上げられました。

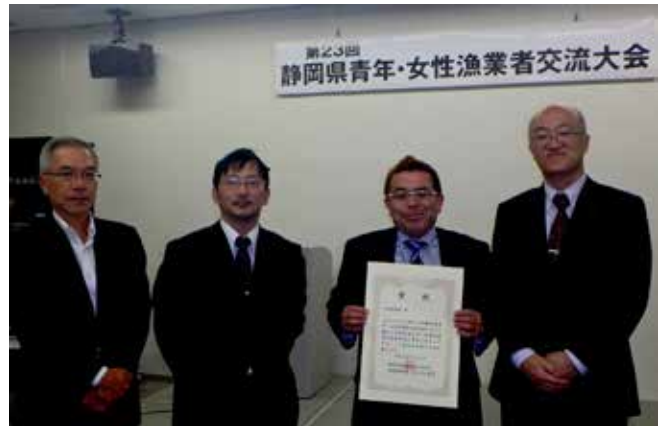
最優秀賞は、惜しくも逃しましたが、審査委員や会場出席者からは大変好評いただき、山下氏にとっても今後

の取組継続の励みとなったようでした。

当分場では、今後も、地域の漁業者による様々な活動の取組を支援していきます。



発表する山下氏



賞状を授与された山下氏
(右から2番目)

体験学習施設「ウォット」より

★パンダウナギの名前決定！★

浜名湖体験学習施設ウォットでは、飼育展示中のパンダウナギの名前の募集を行いました。パンダウナギとは、ニホンウナギが突然変異によりパンダ模様で生まれてくる個体のことで、10万分の1程度の確率で生まれます。名前の募集は1月20日から1月31日の間で実施し、計233票の投票がありました。投票の結果、名前は「湖湖（ココ）」に決まりました。

現在、当館1階のうなぎタッチプール横で展示しています。クリクリした目にパタパタした胸鰭がとてもキュートです！ぜひ「湖湖」ちゃんを見に来てください！

(ウォット職員 工藤 隆馬)



パンダウナギの「湖湖」ちゃん

★★ イベント案内 ★★

○お魚ぬりえ大会

3月17日（土）～3月25日

飛び出すお魚のぬりえをしてみましょう。

○写生大会

4月7日（土）～4月8日（日）

* 作品展示期間： 5月3日（木）～6月3日（日）

館内にて生き物の絵を自由に描いていただけます。

優秀作品は表彰されます。

○「しいく」の日 エサやり体験

4月19日（木） 13:00～14:00

4月19日の語呂合わせで「しいく（飼育）」の日。

当館では、エサやり体験を実施します。

○ストローエビ工作

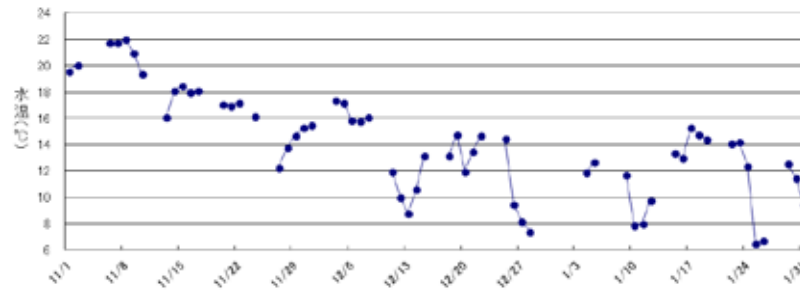
5月27日（日） 10:00～12:00

ストローとはさみを使って、エビを作ります。

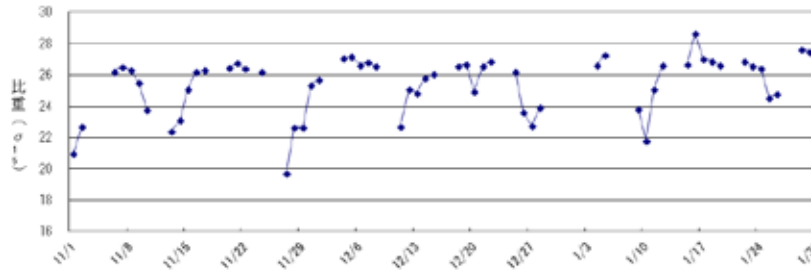
* 本コーナーに関するお問い合わせ等は、ウォット
(053-592-2880) にお尋ね下さい。

弁天島の水温・比重（平成 28 年 11 ～ 29 年 1 月）

水温の変動



比重の変動



水温・比重の平均値

水温(°C)	11月				12月				1月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
2017～2018年	20.8	17.7	15.2	17.9	16.3	11.8	11.3	13.1	10.4	13.5	10.9	11.6
平年 (過去10年平均)	12.0	11.7	12.1	11.9	19.6	18.0	17.1	18.2	15.7	14.1	13.9	14.6

比重 (ρ15)	11月				12月				1月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
2017～2018年	24.6	24.9	24.3	24.6	26.7	25.4	25.0	25.7	24.9	27.1	26.3	26.1
平年 (過去10年平均)	25.7	26.0	26.1	26.0	24.0	24.7	24.6	24.4	25.0	25.2	25.7	25.3

分 場 日 誌（平成 28 年 11 ～ 29 年 1 月）

29 年 11 月

- 7 日 定点観測（浜名湖）
全国養鰻業者青壮年部連合会全国大会（浜松）
- 14 日 浜名湖地区水産振興協議会視察対応（愛知県）
- 15 日 神奈川県養殖業者視察対応（当時）
- 16 日 浜名湖水産物活性化作業部会（舞阪）
- 17～30 日 管内養殖業者向け魚病講習会
- 28～29 日 内水面関係研究推進会議（東京）
- 29～30 日 太平洋中海域トラフグ研究会（名古屋）
- 30 日～12 月 1 日
東海・北陸地域内水面合同検討会（岐阜）
- 7 日 水産研究発表会（焼津）
- 12 日 定点観測（浜名湖）
中央ブロック水産関係研究開発推進会議（横浜）
- 14～15 日 養殖技術者研修（東京）
- 19 日 漁業士認定委員会（静岡）
- 26 日 あさり勉強会（東京）

29 年 12 月

- 1 日 青年・女性漁業者交流大会（静岡）
- 6～7 日 魚病症例研究会（伊勢市）
- 10 日 定点観測（浜名湖）
- 12 日 県漁業士役員会（静岡）
- 13～14 日 ふじのくに食と花の都の祭典（浜松）
- 16 日 浜名湖袋網実行会（舞阪）
- 18 日 漁業士認定式（静岡）
- 19 日 インドネシアからの視察受入（当時）
- 26 日 海外技術研修員受入（当時）

表紙の写真：「弁天島浜小屋」（浜松市西区）（平成 30 年 2 月：漁家女性による水産物調理品販売の様子）